

# 静岡市ろうあ協会報

第005号

発行所 静岡市葵区城内町1-1  
静岡市中央福祉センター  
発行人 小泉 秀力  
編集人 森 匡之  
発行日 平成20年07月08日

## 第2回定期総会

◇実施日 : 平成20年5月18日(日)

◇場 所 : 静岡県総合社会福祉会館

◇参加人数 : 102名



写真:小泉会長の挨拶

平成20年5月18日(日)午前10時から、静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)7階会議室にて、第2回(平成20年度)定期総会が開催されました。

定期総会の出席者は102名・委任者44名で、会則23条により成立。来賓として、静岡市役所・障害福祉課長、静岡市身体障害者団体連合会・会長、静岡市登録手話通訳者の会・代表、手話サークルあおいの会・たつのこ会・波の子会・かえでハンズの各代表ら7名がご臨席されました。

議長に、長島正さん(北部ブロック)、筑地昌明さん(清水夜ブロック)を選出して、議事に入り、議案は全て承認されました。

## ブロック別交流会



写真:伝言ゲームの様子



写真:昔と今の手話の違いを比べるゲームの様子

第2回定期総会終了後、ブロック内のろう協会の会員または地域の手話サークルの会員同士の交流を目的とした「ブロック別交流会」が行われました。

内容は、クイズ、伝言ゲーム、今と昔の手話の違いを比べるゲーム、と言ったレクリエーションが中心でしたが、あっと言う間に時間が過ぎてしまうほど、予想外の盛り上がりとなりました。これをきっかけに、ブロック内の会員を更に知ることができたのではないのでしょうか。

また、この交流会に先立って、手話通訳派遣申請用紙の変更の説明、災害対策についてのお知らせも行われました。

## 第39回静岡県ろうあ青年の集いin伊豆



写真:伊藤行夫氏の記念講演



写真:フィナーレ、伊豆支部から静岡支部へ

## ありんこの里をつくる会 交流会

◇実施日 : 平成20年4月26日(土)

◇場所 : 静岡県総合社会福祉会館



写真:交流会の様子

◇実施日 : 平成20年4月6日(日)

◇場所 : 伊東市観光会館(伊東市)

4月6日(日)、伊東市の伊東市観光会館にて、「第39回静岡県ろうあ青年の集い」が行われました。

午前には開会式が行われた後、静岡県聴覚障害者協会会長の伊藤行夫氏をお招きして、「青年部に期待すること、若者の皆さんに伝えたいメッセージとは？」をテーマとした講演がありました。

講演内容は、昔と現在の青年部の活動の様子や、昔と今の社会の違い、ろう学校校名変更等、社会で問題になってる事についてお話しされていましたが、昔を知らない私達にとっては考えさせられたり、改めて運動等の大切さなど認識させられました。また、冗談を言って話がそれたりと、おちゃめな一面も見せながらの講演でした。

午後は”お楽しみ企画”として、隙間に投げられたものは何かを当てる「お目覚めゲーム」、昼の某番組で話題になった「あるないクイズ」、ボスの手話に合わせる「ボスについて来い！」といった3つのゲームが行われ、いずれもユニークな内容で大いに盛り上がりしました。

来年は節目となる、第40回、そして県青年部創立40周年にあたります、静岡支部担当です！

※会場が伊豆という事もあり、前泊で交流会も行われました。

4月26日(土)、静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)5階情報センター会議室にて、「ありんこの里をつくる会 交流会」が行われました。この日は、交流会に先立って「ありんこの里をつくる会第4回(平成20年度)定期総会」が行われた事もあってか、そのまま交流会に参加する方がたくさんいらっしゃいました。

交流会の内容は、ろう重複障害者も交えて「フルーツバスケット」、「はんかち落とし」と言った2つのゲームを楽しみました。「フルーツバスケット」は5つの果物のグループに分かれ、指名された果物だけが席を移動する通常のルールで、「はんかち落とし」はひざの上にハンカチを落とされたら鬼を追いかけるという、通常のルールを少し工夫したゲーム形式になりました。

今回は約1時間と短い時間でしたが、参加者同士の交流を深めると共に子供たちも楽しんで帰っていききました。

## 校名変更反対運動報告会

◇実施日：平成20年4月19日(土)

◇場所：静岡県総合社会福祉会館



写真：司会の小倉静聴協事務局員



写真：経過説明をする山本静聴協事務局長



写真：シンポジウムの様子

4月19日(土)、静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)7階会議室にて、「校名変更反対運動報告会」が行われました。

この日は、先に静通研の総会、記念講演が行われた事もあり、大勢の手話関係者が参加していました。

内容は、開会の挨拶の後、山本事務局長から経過報告、署名運動で重要な役割を果たした4名の方々がそれぞれの立場から報告を行いました。

【山本直樹さん】

新聞への投書、署名運動を行う時の指示等を説明。

【高橋節さん／元静通研会長】

ろう学校元教員として、現場のあるべき姿を説明。

【黒澤シン子さん】

議会の傍聴参加者として、議会の様子等を説明。

【横山節子さん／あおいの会】

署名運動の手伝いとして、その様子を説明。

4名の報告の後、シンポジウムに移りました。

シンポジストに愛知県の元ろう学校校長、全日ろう連教育対策部長、県聴協会長を迎え、静岡県の取り組みの感想、静岡県のろう教育はどうあるべきか、校名変更後に危惧されることなどお話しがありました。

最後に、ゲド戦記の訳者で青山学院女子短期大学の清水眞佐子教授より感想がありました。

この署名運動は(校名変更が決まったから)終わりではなく、今後も県教委とろう教育のあり方について、等の話し合いが続けられ、その質の向上に取り組んでいかなければなりません。



写真：挨拶をする清水眞佐子教授

## 5月ハイキング(清水昼ブロック)



写真:蓮華寺池公園を背景に集合写真

◇実施日 : 平成20年5月1日(木)      ◇参加人数 : 18名

◇場所 : 蓮華寺池公園、藤枝郷土博物館、ほか(藤枝市内)

ろうあ協会、清水ブロックは昨年シラス祭り見物5月18日を計画予定していましたが、市ろう協の定期総会が同日の5月18日に決定し、日程が重なった為、しらす祭り見学をとりやめ、5月1日のハイキングに変更しました。

5月1日の当日はさわやかな五月晴れとなり、参加者は18名、清水チームは清水駅から電車に乗って草薙駅で草薙チームと合流して藤枝に行きました。駅からは一般の壮年熟年の人達と一緒にバスに乗り、満員でしたが蓮華寺池入口のバス停ではなだれ降りる様な感じでした。目的の蓮華寺池公園では、まわりが小山いっぱいの緑、大きな広い池の水面に青い空が反射し、さざ波がたち、その上を何匹もの鯉のぼりが五月の風を受けて天高く悠々と泳いでいる姿、つつじの花の彩り、藤の花や香り、長く垂れ下がった藤の房。その中を人が往生し、とてもにぎやかでした。昼食は休憩小屋で1時間位ゆっくりとりました。新緑の輝き、若葉の香りの漂う中、おだやかな風を受けてゆったりと気持ちよく過ごすことができ、参加してよかったと思いました。他の参加者も満足顔で同じ思いだろうと感じました。昼食後、池の周りを歩きました。あちらこちらに色々な売店がたち、私たちはお茶の店に立ち寄って、新茶(棒茶)つめ放題のお茶を決められた袋に袋詰めしました。店の人から「頑張れ」と応援され、詰めすぎと思われるまで詰めました。1袋で千円でした。帰ってから計ってみると347gもありました。他に千円の下駄を購入しました。上等の下駄だが傷があるので安いという話でした。

池の辺りの歩道を歩きながら、私達は天上の鯉の数を数えましたが、人によって48匹49匹52匹と数がまばらだったので苦笑いしました。実際は100匹以内で池の上をゆらゆらと風によって泳いでいました。

13時になり、藤枝郷土博物館を見学。14時に終了。藤枝駅まで徒歩組とバス組と別行動になり、現地で解散しました。とても有意義に過ごした花見ハイキングの1日でした。今年は私にとってろうあ協会役員最後の年でよい思い出になりました。参加された皆様ご足労様でした。

(清水昼ブロック 黒澤シン子)

清水昼ブロックのハイキングで、清水駅から藤枝駅まで電車、藤枝駅からバスに乗って蓮華寺池公園へ行きました。清水からの参加者が多かったのは驚きです。蓮華寺池公園は藤をはじめ、水仙が綺麗に咲いていました。また、公園を歩きながら色々な売店を見て回りました。ハイキングは健康で体に良いと思いました。

(清水昼ブロック 堀弘子)

## 2008年度東海聴覚障害者連盟幹部研修会

◇実施日：平成20年5月25日(日)

◇場所：愛知県蒲郡市

初めて東海聴覚障害者連盟幹部研修会へ出席しました。全日本ろうあ連盟青年部長の嶋本恭規氏の講演を聞いて、その中、兵庫県聴覚障害者協会副理事長の故小松博氏が淡路ふくろうの郷(特別養護老人ホーム)を設立しようという運動で「5億円集めるぞ」と言って、兵庫県聴覚障害者協会27協会の協力をしながら、色々各地で絵画展やコンサート等のチャリティを行って5億円を集めて達成した事がすごいな。と思いました。兵庫県内の青年部6人が仕事を辞めて、現在、淡路ふくろうの郷(特別養護老人ホーム)で仕事しています。

また、兵庫県聴覚障害者協会青年部の旗があることを聞いて、知らなかったです。その旗があると青年部があるというアピールをしており、多くの青年部が入ってきました。もしも、静岡県も青年部の旗があったら、多くの若い青年のろうあ者が青年部に入ってくれたらいいな。と思いました。

午後は各県討論会を行いました。その中、愛知、三重、岐阜の青年部活動はどうなっているのか?確認しました。愛知県は県青年の集い、県青研、学習会を行っています。三重県、岐阜県はボウリング、キャンプ、スキー・スノボ等の遊び関係の青年活動を行っており、又、スポーツをしている青年ろうあ者が多いことがわかりました。

静岡県は青年活動していますが、青年部会員が高齢化で少し減少しています。少しでも多く青年ろうあ者が増える事を期待しています。

(青木 孝行)

5月25日(日)蒲郡市勤労福祉会館にて「2008年度東海聴覚障害者連盟幹部研修会(組織部・青年部)」が行われました。当日は雨でしたが、東海から30名の参加者が集まりました。

午前の部は、(財)全日本ろうあ連盟青年部長 嶋本氏の講演があり、午後の部は各県青年部代表発表、各県協会代表発表、組織部・青年部合同討論会が行われました。講演「青年運動と地域協会との関わりを深めるためには」で、阪神淡路大震災の経験、青年運動をしたきっかけ、ふくろうの郷を設立までの流れなどを聞き、私はすばらしい講演が聞けてよかったです。

午後の部は、各県青年部の状況や活動、会員減少の理由や理事会と青年部のパイプなどを聞けることが出来ました。討論会では、普段言えないような本音、若手と人材のポイント・アドバイスなどをいろいろと聞いて、参考になることばかりでした。いろいろな青年部の状況や活動を通して、今の青年部があると思うが、これから青年部をもっと変えていかなければならないという気持ちが少しずつあります。

また、どのように青年部を変えていくかは、これから考えていきたいと思っています。

(梅原 綾乃)

午前は(財)全日本ろうあ連盟青年部長 嶋本氏の講演で、「青年運動と地域社会との関わりを深めるためには」をテーマに阪神淡路大震災の経験からろう協の必要性を感じ、事務局長になるまでの経過を話していただきました。ここ数年近畿が盛り上がっている理由としては兵庫の嶋本氏、京都の内川氏らが牽引しているからだ実感しました。

これまでは単に運動に参加すれば自然と学べたのですが、ろうあ問題の多様化、若者のろう協離れにより人を動かすためには見てもらうだけでなく、どうやって引っ張るかを工夫しなければならない時代になってきました。つまり、これまで単に「見れば分かる」では通用せず、「分かりやすく説明する」という能力が必要になってきます。

午後の部は時間がなくて発言ができませんでしたが、今後とも協会としてやっておくべきは「会員の満足度調査」ではないか、と思います。新たな会員を拡大するための活動はもちろん必要ですが、今会員になっている人の協会に対しての満足度がどれだけ高いか低いから、反省点や改善点を洗い出すことができます。こういった取り組みを行うことで、会員の退会(減少)をいづらか防ぐこととなります。

今回はこのような視点での発言がなく、どこかの的を絞りにきれずに不完全燃焼で終わったのが残念でした。

(山本 直樹)

## 青年部新人歓迎会



写真: 歓迎会の様子

◇実施日 : 平成20年5月31日(土)

◇場所 : もんや(静岡市葵区)

◇参加人数 : 17名

去年、多忙の為、新部員歓迎会を行なうことが出来なかった。やっと、5月31日(土)に居酒屋もんやで新部員と既存部員が集まって、新部員歓迎会を行なうことが出来ました。

新部員6名が青年部に入ったということで嬉しく思いました。新部員と既存部員と一緒に飲み食べしながら、楽しく出来て良かったです。

(青年部部长 青木孝行)

## 第58回静岡県ろうあ者大会



写真: 石川嘉延静岡県知事の挨拶



写真: 高田氏の講演

◇実施日 : 平成20年6月15日(日)

◇場所 : 御殿場市民会館(御殿場市)

6月15日(日)、御殿場市民会館にて、第58回静岡県ろうあ者大会が開催されました。

午前には、評議員会、通常総会が行われ、全ての議案がそれぞれ承認されました。

そして、午後は、「静岡県ろうあ者大会」が行われ、来賓に石川嘉延静岡県知事、長田開蔵御殿場市長らのご臨席され、祝辞の冒頭でそれぞれ手話で自己紹介されました。

式典に続く大会宣言や大会決議などの後、元東海聴覚障害者連盟理事長の後藤勝美氏が「負の遺産」を、また全国手話研修センター所長の高田英一氏が「ろう者と障害者権利条約」をテーマにそれぞれ講演させて頂きました。後藤勝美氏はオーストリアやミャンマーの情勢をはじめ憲法9条や自身の絵の展示会についてをお話しされ、高田英一氏は障害者権利条約の解説、手話の表し方等をお話しされました。

来年度は小笠地域で開催されます。

※今回は、今年で社団法人設立10周年を迎え、前日に早瀬憲太郎氏、早瀬久美氏をそれぞれお招きして講演、終了後は「社団法人設立10周年記念交流会」が行われました。

## 第41回静岡県ろうあ者体育大会

4月20日(日)、浜松市にて「第41回静岡県ろうあ者体育大会」が行われました。静岡市ろうあ協会からは、野球、卓球、ボウリング、ゲートボールの競技にそれぞれ参加しました。各競技の結果は以下の通りです。

野球	富士12-7静岡、伊豆5-3静岡			
卓球	曾根大輔 3位、安本涼 4位、飯田悠真 1回戦敗退、伏見清史 1回戦敗退 ※トーナメント戦			
ゲートボール	Aチーム 2敗、Bチーム1勝1敗 決勝トーナメント:A,Bチーム共に1回戦敗退			
ボウリング	男子団体戦:静岡チーム優勝、女子団体戦:静岡チーム優勝			
	男子個人予選:	男子個人決勝:	女子個人予選:	女子個人決勝:
	浅倉正宏 3位	福島邦夫 2位	久保田光恵 1位	久保田光恵 1位
	福島邦夫 4位	浅倉正宏 3位	増田直美 4位	増田直美 3位
	吉川尚志 7位	吉川尚志 8位	福島香寿子 6位	
	柏木聡幸 12位			

## 聴覚障害者の運転者マークについて



6月1日に道路交通法の一部改正が施行され、その中に聴覚障害者に対する規則が設けられました。

<内容>

・運転時に車体の前後2カ所に表示を義務づける。(表示を怠ると処罰されます。)

・マークを表示した車への幅寄せや割り込みは禁止。

・ルームミラーのワイド化。

など

※免許証の「条件等」に”補聴器”が付いている方は、上記の規則に則る必要はありません。

その他、おもな改正点

・後部座席へのシートベルト着用。

・75歳以上ドライバーのもみじマーク表示義務。

など

## iFAX(防災情報一斉ファックス送信)の受付

静岡市防災課より、大雨・洪水警報などがあった場合、FAXで警報を連絡する制度があります。(使用料は無料です)

受信希望者は各区の障害者支援課の窓口で申し込むことができますが、ろう協でとりまとめて申し込むことができます。

ただし、24時間でiFAXが送信されますので、夜中にFAXが来ることがあります。FAX受信機を無振動モードするか、健聴者の家族がいる場合は御注意下さい。

iFAX受信希望の方は、ろう協まで申し込んでください。

**今後の行事予定**

※詳細については各行事の案内ビラで確認してください。

日程	内容	場所
2008/07/12(土)～13(日)	県ろうあ青年研究討論会	湖西市
	東海婦人討論及び幹部研修会	浜松市
2008/07/19(土)	静岡ろう学校まつり	静岡聾学校(静岡市)
2008/07/20(日)	幹部研修会	静岡県総合社会福祉会館
2008/07/26(土)	老人部GG交流会	浜松市
2008/07/27(日)	文化活動者研修会	小笠
2008/08/03(土)	東海文化セミナー	三重県
2008/08/09(土)～10(日)	ろう教育を考える全国討論集会	兵庫県
2008/08/22(金)～24(日)	全通研夏の集会	山口県
2008/09/12(金)～14(日)	全国ろうあ者体育大会	大阪府
2008/09/20(土)	東海手話通訳者問題研究集会	静岡県

**ホームページ・ブログの紹介**

聴覚障害者の情報獲得に大きく貢献しているインターネット。静岡県の聴覚障害者への情報発信としてよく使われているホームページやブログを紹介します。静聴協の各種行事や書籍紹介など、見ていて損はありません。また、情報センター手話動画ブログも、知る人ぞ知る「月曜男」が大活躍です。ちなみに月曜男は当ろう協会員です。

社団法人静岡県聴覚障害者協会ホームページ	<a href="http://www.e-swicth.jp/sz-deaf/">http://www.e-swicth.jp/sz-deaf/</a>
静岡県聴覚障害者情報センターホームページ	<a href="http://www.e-swicth.jp/szdi-center/">http://www.e-swicth.jp/szdi-center/</a>
静岡県聴覚障害者情報センターブログ	<a href="http://blog.goo.ne.jp/szdi-center">http://blog.goo.ne.jp/szdi-center</a>
静岡県聴覚障害者情報センター手話動画ブログ	<a href="http://szdi-center.cocolog-nifty.com/blog/">http://szdi-center.cocolog-nifty.com/blog/</a>

**原稿募集**

団体の動き、話題、会員消息、問題提起など、  
どんどん原稿を出して下さい。

☆締切日 9月7日

☆投稿先

FAX 054-354-0184

Eメール gdeh\_tree3@yahoo.co.jp

機関紙担当 森 匡之

※次回発行(6号)は、10月7日の予定

**編集後書き**

2008年度に入って初めての機関誌発行です。最近では機関誌のネタを提供してくれる方が少し増えてきました。この会報を読んでもらう方がいる事を実感すると共に嬉しく感じました。また、引き続き原稿等もお待ちしています。(連絡先は左枠参照。)

総務部員・機関紙担当 森 匡之